



平成29年
1月

撮影地：真庭市新庄

コメント：久世から蒜山に入る道中の柿の木の冬景です

〈吉井外科内科クリニック 吉井康哲先生〉

〈赤磐医師会病院基本理念〉

- ❁ 心のかよう、温かみのある医療の提供に努めます。
- ❁ 安全で質の高い医療を提供し、信頼される病院を目指します。
- ❁ かかりつけ医と連携を深め、地域と共にある病院を目指します。



平成29年初頭に当たり

公益社団法人赤磐医師会会長 滝澤 貴昭



新年あけましておめでとうございます。

赤磐医師会病院は大幅な増改築のおかげで、近年は入院のための病床に多少の余裕が生じ、また少しずつではありますが職員も充足されつつあり、地域医療の中心的病院としての役割を担えるようになってきたと実感しています。

医療は、病院のみ、開業医のみで完結するものではなく、常に緊密な連携体制が必要です。また医師達の連携のみではなく、看護師・薬剤師・ケアマネジャー・介護職員・行政担当者など、多職種の方たちが、顔の見える関係の中で、患者さんを中心に連携体制を整えていかねばなりません。

赤磐の医師数は、病院・診療所ともに、近隣の岡山市とは比較にならないほど少ないことは言うまでもありません。また医師会病院の医療水準も、当然ながら大学病院や大きな公的総合病院と同じとは言えません。しかし、赤磐において、日常一般的な医療を受けたり、在宅医療を続けておられる方にとっては、かかりつけの開業医と医師会病院の医師たちや医師を支える職員たちが緊密な連携・補充・助け合いにより、他の地域よりも優れた医療体制を提供できているものと思います。たとえば、ご自宅で開業医の訪問診療を受けながら家族に囲まれて生活でき、急変時にはいつでも、そのかかりつけ医から医師会病院への入院を紹介してもらえ、専門的治療が受けられるという保障が担保されていることは、患者さん・ご家族にとっても、またかかりつけ医にとっても大変ありがたいことでもあります。

最近、東京の某有名病院（誰もが、その病院名や名誉院長の名前を聞いたことのある）では、周辺の医師達から大変な不評を買っているとの事であります。内容としては、お金持ちや有名人は紹介すればすぐに入院をさせてもらえるけれども、そうでない患者さんでは、いろいろと難癖をつけられてベッドを確保してもらえないというものです。まるでテレビドラマのような話であり、またあくまで噂話なので、真偽の程は不明ですが、そのような噂を聞くにつれ、赤磐の医療事情はなんと恵まれていることかとうれしくなってしまうます。

近年は、厚生労働省も県も、地域包括ケアシステムの構築を推進するという事に躍起になっています。そんな中、赤磐医師会病院の地域医療支援病院運営協議会の場において、岡山県県南東部医療圏を統括する備前保健所長から、赤磐の開業医と医師会病院の診療連携体制をみると、赤磐は県内でもっとも地域包括ケアシステムの進歩した地域であり、患者さんやそれを支える多職種の方たちも恵まれていると思いますとの言葉を頂戴し感動しました。

医療は、建物の規模や豪華さ、高額な医療機器や、世間的に有名な医師達によって支えられているのではなく、現場で患者さんのために考え、悩み、職種を超えて相談できる身近な医師・医療スタッフにより支えられているのです。いわゆる医療過誤や医療事故と言ったたぐいのものは極力減らすよう努力していかねばなりません、患者さん自身がとてもまれな病状を有しておられる場合や、予想しえないような急速な経過をたどられる方もおられます。医療スタッフも、コンピューターのように行きません。しかし、心のこもった医療が提供されていれば、その努力は患者さんやご家族の方にも伝わると信じています。

さて、昨年11月に全国上映された映画「種まく旅人 夢のつぎ木」は赤磐の桃農家を舞台に描かれたストーリーでした。その映画にて、女優への夢をあきらめて、早逝した兄の遺志を継ぐべく新種の桃栽培に没頭してきたヒロインが「気が付けば大切な人たちが見守ってくれていました」と語り、ヒロインの夢を挫折させないように友人・近隣・地域の人たちが駆け寄ってくれ、感謝するヒロインに対して口々

に「赤磐じゃから」との声掛けがされる場面は感動的でした。しかし、赤磐の現実を考えると、農業の後継者問題のみではなく、医療界においても医師やメディカルスタッフの高齢化と後継者問題は深刻と言わざるを得ません。助け合い精神や赤髭先生のような思いやりで日々を奮闘している医師達が多いとはいえ、意気込みと熱意のみではすでに地域医療を守り続けていけなくなっているという現状と未来に、不安を持っていないかという嘘になってしまいます。

例えば休日当番医制度について、住民の皆様はあって当然とお考えかもしれませんが、しかし、実態としては、代休の無い医院において、貴重な日曜日や祝日の休みを返上して、医師・スタッフが出勤しています。その肉体的・精神的・経済的な負担は大変大きいものであります。岡山市中心部や東区西大寺・上道地区などは医師数が多いので、希望する医院の手上げ方式となっています。一方で、赤磐市からは市単独で複数の医療機関を開設することが求められていますが、医師の高齢化や廃院の影響などもあり、2年前から岡山市瀬戸町の医院と相乗りで実施させていただいています。数年前までは赤坂・吉井・熊山地区と瀬戸町の医院では年に8回程度の出務が求められていました。しかし、さすがに限界ということで、瀬戸町を含めた赤磐地区・すなわち旧赤磐郡に2か所、できるだけ内科系と外科系診療所が開いているように変更させていただきました。それでも、正月やゴールデンウィークなどを含めて年に4—5回の出務が義務付けられ、また少ない医師数を補うため、日頃は、自分の専門以外は診察されない、眼科や耳鼻咽喉科、皮膚科の医師たちも、風邪や腹痛や怪我の診察に当たっています。経験豊富な医師たちですから、何科であっても基本的な診療技術には問題がないことは言うまでもありません。しかしながら、日頃と違う病気を扱う場合には、看護師や事務スタッフたちのストレスはかなり高まっていることは間違いありません。また、昨年度まで医師会病院にて小児科休日診療を実施してきました。これは赤磐医師会内3名の有志ある医師たちのご厚意で開設し、好評を得てきました。しかし、当番医を標榜すると、小児科に限る、と広報や新聞にて掲載していただいても、どうしても小児科のみではない、大人の患者さんも医師会病院に押し寄せられ、医師会病院のスタッフが疲労困憊する事態となってしまいました。本来、重症の救急車対応や病棟の入院患者さんを診療するために日直・当直している医師や看護師が、一般外来に駆り出されて、救急車の受け入れができなくなったり、病棟患者の診察がおろそかになる恐れが生じてきました。そこで、やむなく医師会病院の小児科診療は休止させていただくこととしました。休日当番医制度は長らく継続されてきましたが、あくまで開業医たちの奉仕の精神に基づいて実施されてきており、行政からの経済的支援では、出務するスタッフの人件費や各種経費などはとても賄いきれません。大赤字覚悟のボランティア精神で継続していますが、患者さんの中には受診されて気に入らないとすぐに医師会事務局にお叱りの電話をいただいたり、SNSに投稿されたりと、やりきれない気持ちになることもあります。休日当番医を受診されたり、医師会病院の時間外診療をご希望になって来院される場合には、患者さんやご家族様にも、医師やスタッフに対して、感謝・ねぎらいの気持ちを持っていただければとお願い申し上げます。

最後に、赤磐医師会は岡山県内地区医師会の中で唯一の公益社団法人です。他の医師会は一般社団法人です。公益法人に課せられた使命として、住民の方々や、医療・福祉・介護に関わる方たちを対象とした、講演や啓蒙活動が義務付けられています。昨年も、社会福祉協議会・小中学校・愛育委員会・老人会・赤磐市などからの依頼で、医師会の医師や医師会病院の医師・管理栄養士・看護師・リハビリスタッフなどが出前講座をさせて頂いております。またこの地域に専門家がない場合には、招聘させていただくことも可能です。その際の財政的な支援についても医師会として協力させていただくべく定款を変更し、フレキシブルに対応できるような体制を整えております。少人数10人20人単位でも、また100人くらいの多勢でも、こんな話を聞いてみたい、こんな相談をしてみたいというようなご要望がありましたら、医師会病院スタッフあるいは医師会事務局までご連絡ください。可能な限り協力させていただきたいと思っております。

それでは今年も赤磐医師会病院ならびに赤磐医師会会員施設をよろしくお願い申し上げます。



新年挨拶

赤磐医師会病院院長 佐藤 敦彦



皆様、新年あけましておめでとうございます。

当院にとって昨年は、新たに看護師・薬剤師・リハビリテーションスタッフなど様々な職種の職員を採用し、常勤・非常勤を合わせて290名を超える職員を有する地域中核病院として、飛躍の一年となりました。これまで多くの患者さんや医師会会員の先生方に支えられ、お陰様で堅調な病院運営をすることができております。この場をお借りし、厚くお礼申し上げます。

さて、昨今、地域における医師不足の問題がマスコミに取り上げられる機会がめっきり減ってきましたが、これは決してこの問題が解決したからではありません。新医師臨床研修制度に加え、新専門医制度の発足により、若手医師は一層都市中心部の大規模病院に集中し、医師の偏在が一向に解消される兆しが見られません。当院においても例外ではなく、昨年は内科常勤医師が2名退職し、日常診療において皆様に大変なご不便とご心配をおかけしております。

引き続き良質な医師の確保に全力を挙げると共に、なお職員一同、精一杯の努力にて活力のある病院作りを目指して参りますので、本年もどうかよろしく願い申し上げます。



新人紹介

外来看護師 ● 羽田 洋美



9月から外来で勤務しています。毎日、頭も体もクタクタですが、皆さんのおかげで楽しく通っています。休日は、録りためたドラマを観たり、友人とお喋りしてリフレッシュしています。よろしくお願いいたします。

病棟看護師 ● 島津 萌



10月より西3階で勤務させて頂いています。1日4時間の短時間勤務ですが、温かく迎えて下さり、楽しく仕事をさせて頂いています。少しずつですが、日々精進して行けたらと思います。宜しくお祝い致します。

病棟看護師 ● 山口 文絵



11月より東3階で勤務させて頂いています。早く慣れるよう頑張りますのでよろしくお願いいたします。

病棟看護師 ● 近藤 里江子



11月より西2階病棟で勤務させて頂いています。慣れないことも多いのですが、日々がんばっていきたいと思います。よろしくお願いいたします。

病棟看護師 ● 西岡 友子



11月より西2階病棟で勤務させて頂いています。休日は買い物やおいしい物を食べに行ったりする事が好きです。一日でも早く仕事に慣れるよう一生懸命頑張りますのでよろしくお願いいたします。

看護補助者 ● 松本 夏美



9月より南3階で勤務させて頂いています。不慣れな私にご指導下さった方々へ感謝の気持ちを忘れず、一日も早く皆様のお役に立てるよう頑張りますので、よろしくお願いいたします。

地域医療 連携施設の ご紹介

第10回
瀬戸地区



粟井内科医院 粟井 幹哉先生

会員の先生方には日頃から大変お世話になっております。以前は深夜に起こされることが度々ありましたが、ここ10年間は医師会病院のお陰で起こされることが殆どなくなりました。今まで大過なく仕事をさせて頂き、ありがたいことだと感謝しております。何時引退するかわかりませんが、今後とも宜しく願い申し上げます。

岡山市東区瀬戸町万富622-1
TEL 086-953-0617
診療時間 / 9:00~12:30, 16:00~18:30
休診日 / 日・祝・土(午後)



こしむね瀬戸クリニック 越宗 陽平先生 あさこ先生

整形外科医の夫と耳鼻咽喉科医の妻。二人で仲良く開業して15年目を迎えました。

アットホームな雰囲気です。優しくわかりやすい診療を心がけています。

水曜午後は基本的に休みさせていただきますが、予約で小手術をしたり、月に一度小児のことばの相談を含む補聴器外来を行い、時間をかけて患者さんと向き合えるよう努力しています。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

岡山市東区瀬戸町光明谷 218-1
TEL 086-952-5330
診療時間 / 9:00~12:30, 15:30~18:30,
(土) 9:00~13:00
休診日 / 日・祝・水(午後)、土(午後)



せとメンタルクリニック 井上 慶郎先生

恩師である南雲先生が瀬戸町下で開業しておられました。後年病気で診療が出来なくなった時に、お手伝いに来ておりました。先生が亡くなった後、引き継ぐ形で現在の住所で開業いたしました。早いものでもう8年目となります。今後とも赤磐医師会の下、地域連携に専念して行きたいと思っておりますので宜しくお願いいたします。

岡山市東区瀬戸町瀬戸410-1
TEL 086-952-4848
診療時間 / 9:00~13:00, 15:00~17:00
夜間17:00~19:00(火・金のみ)
※完全予約制
休診日 / 日・月・土
(土曜日のみ隔週で午前中診療あり)

クリスマス★コンサート

冬の恒例行事となりましたクリスマスコンサートを開催しました。今年も山陽聖約キリスト教会のボランティアの皆様のご協力により美しい歌声と演奏を聞かせて頂きました。

懐かしい歌を皆で歌い、中には涙を流しながら聞いている方もおられ、私も胸にジーンと響きました。患者さんも病気をひと時でも忘れて和やかな時間を過ごせたことと思います。

一日も早く病状が回復しますよう願っています。

看護部 松田



赤磐医師会病院 外来診療・検査担当表

平成29年1月1日現在

		月	火	水	木	金	土
外来診療・健康診断	内科一診(再診)	ゆのき なおこ 柚木 直子	ひらい みちお 平井 通雄	ゆのき なおこ 柚木 直子	ひらい みちお 平井 通雄	かわぐち けんじ 川口 憲二	休診
	内科二診(初診)	なだ たかひろ 灘 隆宏	さとう あつひこ 佐藤 敦彦	ともだ じゅん 友田 純	なかずか たかまさ 中須賀崇匡	担当医	
	内科三診(再診)					さとう あつひこ 佐藤 敦彦	
	内科午後(予約外来)	ゆのき なおこ 柚木 直子※1 (PEG造設・嚥下評価外来) おおみや てるあき 大宮 照明					
	外科	とだ さとし 戸田佐登志	みやぎ こうじ 宮木 功次	うちだ たくゆき 内田 卓之	とだ さとし 戸田佐登志	みやぎ こうじ 宮木 功次	
	整形外科	かたやま のぶあき 片山 信昭	おの ともき 小野 智毅※2	かたやま のぶあき 片山 信昭	おの ともき 小野 智毅※2	かたやま のぶあき 片山 信昭	
	リウマチ外来(予約・紹介制)		かたやま のぶあき 片山 信昭※3				
	頭痛・めまい外来(予約・紹介制)			きのう あきら 佐能 昭※4		きのう あきら 佐能 昭※4	
	泌尿器科			きさおか たけと 笹岡 丈人※5		わたなべ とよひこ 渡邊 豊彦※6	
	呼吸器内科(予約・紹介制)		やまざし ともこ 山岸 智子※7	ふじわら けいいち 藤原 慶一※7	まつお きよし 松尾 潔※7		
	糖尿病内科(予約・紹介制)	しみず いっき 清水 一紀※8					
	循環器科(予約・紹介制)	しげとし まさたか 重蔵 正尚※9	たちばな もとみ 橘 元見※10				
	腎臓内科(予約・紹介制)		おおみや てるあき 大宮 照明※11				
	神経内科(予約制)				たけもと まみ 武本 麻美※12		
	疼痛外来(予約・紹介制)		にしえ ひろゆき 西江 宏行※13				
健康診断	よねい じろう 米井 二郎	なかとう るい 中藤 流以	よねい じろう 米井 二郎	ともだ じゅん 友田 純	ひらい みちお 平井 通雄	(第1) 丸山 昌彦 まさのこ なかつ 流以 (第3) 中藤 流以	

診療受付時間：午前8時30分～午前11時

PEG造設・嚥下評価外来	※1 月曜日	午後2時～午後4時
整形外科	※2 火・木曜日	午後1時～午後3時
	※3 リウマチ外来	火曜日 午後1時～午後3時 筋電図検査につきましては事前に整形外科医師にご相談下さい。
頭痛・めまい外来	※4 水・金曜日	午後1時～午後3時
泌尿器科	※5 水曜日	午前9時～午前11時 午後1時～午後2時
	※6 金曜日	午前9時～午前11時
呼吸器内科	※7 火・水・木曜日	午前9時～午前11時
糖尿病内科	※8 月曜日	午後2時～午後4時
循環器科	※9 月曜日	午後1時30分～午後5時
	※10 火曜日	午前9時～午前11時 午後1時30分～午後5時
腎臓内科	※11 火曜日	午前9時～午前11時
神経内科	※12 木曜日	午前8時30分～午前11時
疼痛外来	※13 第1・3・5火曜日	午前8時30分～午前11時

*都合により休診になることがあります。

永年勤続者表彰

昭和61年、平成8年の入職より、
永年の勤続、
大変おめでとうございます。

昭和61年入職者(勤続30年)

山田由美子(総看護師長補佐)

平成8年入職者(勤続20年)

藤井みどり(看護主任)

井手 環(看護師)

水野 澄(医事課)

地域医療支援病院 赤磐医師会病院

〒709-0816 岡山県赤磐市下市187-1

TEL 086-955-6688 (代) FAX 086-955-4946

HP <http://www.akaiwa-mah.jp/>

発行日 平成29年1月15日

